

主郭は3重の石垣で
囲まれていた?

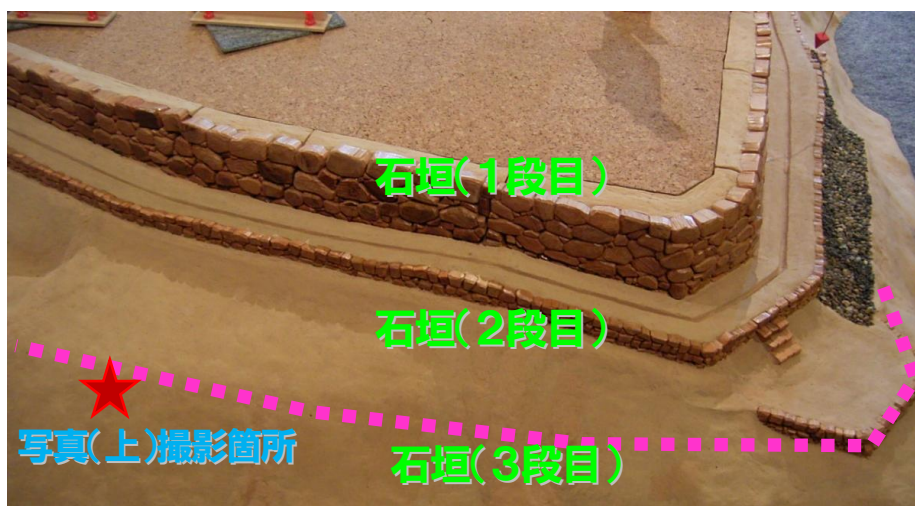


主郭北東斜面で見つかった石垣(3段目)

3段目石垣確認!

冬の晴れた日、小牧山山頂からは、厳寒の澄んだ空気のせいか雪を頂いた養老山脈、伊吹山、御嶽山、中央アルプスまで見渡せる時があります。同じ山並み、景色を戦国時代の人々も眺めていたのでは、と思うと時の悠久を感じます。

発掘調査は、2月14日の現地説明会を目前にして、いよいよ佳境に入りつつあります。調査区の北東斜面では、写真(上)のような石垣(3段目)が確認されました。小牧山城の主郭は2重の石垣・石壁によって囲まれるという従来の想定を覆す重要な発見です。当時の人々が見たことのない幾重もの石垣で囲まれた「石の要塞」小牧山城。このお城にはまだまだ秘密が眠っているようです。調査でさらなる成果が得られるよう、今後も真摯に取り組みます。



想定される3段目石垣のプラン(歴史館展示模型に加筆)

石垣(1段目)
石垣(2段目)
石垣(3段目)
写真(上)撮影箇所

発掘ひとくちメモ

～平城・山城・平山城～

お城は、その立地から大きく3種類(平城・山城・平山城)に分類されます。平城は城と周辺との標高差がほとんどない城(例:名古屋城)で、山頂部に築かれた城は山城といいます(例:岐阜城)。山頂に築かれた城でも、小牧山城のように周辺との比高差が小さい城は平山城といわれます。

調査中ご迷惑をおかけしますがご理解とご協力をお願いします

小牧市教育委員会